



加養だより 第113号

鹿児島県立加治木養護学校

〒899-5241

鹿児島県始良市加治木町木田1784番地

TEL (0995)63-5729

FAX (0995)63-5498

「感謝の気持ち」

校長 徳永 謙一

当たり前のことが、当たり前でできなくなって3年が過ぎようとしています。コロナは私たちの生活や行動様式に多大な影響をもたらしました。特に、病弱の特別支援校である本校にとっては、子供たちの生命の維持に直結した大問題です。

授業の進め方、給食のあり方、そして通学方法に至るまで様々な決まり事が出来ては、見直されていきました。係を中心に、どうしたら子供たちの安全を確保した上で、教育活動を進めていけるだろうか。日々、様々な知恵を出し合い試行錯誤を繰り返しながら、その都度、最善の努力を積み重ねてきました。

幸いにも大きな混乱もなく、子供たちは元気に教育活動に取り組むことができています。これも保護者を始め、本校に関わりのある多くの皆様の理解と協力があったからこそと感謝の気持ちでいっぱいです。

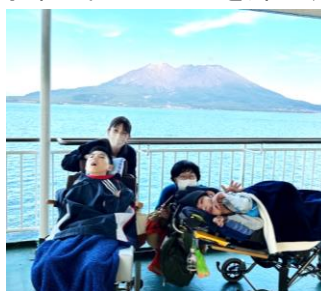
来年度の学校行事について、校内で検討しています。運動会や学習発表会をどうするか。平日開催か、それとも週休日に戻すのか。まだ、結論は出ていませんが、複数の案を持ちながら、臨機応変に対応していくことが大切であると思います。前例にとられることなく、教育の主人公である子供たちの安全と願いを最優先にして判断していく。これまでも、これからもその一点だけは変わらずに。

「高等部修学旅行」

好天に恵まれた修学旅行当日。高等部2、3年生の11人は、みんなに見送られて元気に出発しました。まず奄美の里で草木染めに挑戦しました。「どんな模様にしようかなあ？」と、みんな真剣。出来上がりをお披露目する時は、「お～！」と歓声が上がりました。

次はみんなが楽しみにしていたお食事。鶏飯（けいはん）や煮物、フルーツととても豪華なメニューでした。景色の良い場所で、みんなで食べる食事は最高でした。ホテルでも、温泉に食事にゲームにと楽しいこと三昧。みんなニコニコとても嬉しそうでした。興奮してしまい、夜更かしした人もいたようです。

二日目は、イルカランドに行きました。イルカのジャンプする姿やかわいいしぐさにみんな手を叩いて喜んでいました。イルカの他に、亀やポニーもいて、動物たちとの触れあいを時間いっぱい楽しみました。あっという間の1泊2日の修学旅行でしたが、高等部生活の思い出を飾るすてきな時間となりました。



「児童生徒の活動実績」

- 第73回鹿児島県図画作品展
 - 入選 樺木野 透羽 (小学部6年)
 - 入選 鳥山 理句 (中学部3年)
- 第15回南日本ジュニア美術展
 - 入選 扇菌 茉彩 (小学部2年)
- 第41回「肢体不自由児・者の美術展／デジタル写真展」
 - 銅賞 町田 椎菜 (中学部3年)
 - 銅賞 井戸崎 竜斗 (高等部2年)
 - 銅賞 蛭川 しらべ (高等部2年)
- 大阪経済大学 第22回 高校生フォーラム「17歳からのメッセージ」
 - 奨励賞 蛭川 しらべ (高等部2年)
- 第73回鹿児島県高校美術展
 - 映像部門 入選 井戸崎 竜斗 (高等部2年)
 - 映像部門 入選 蛭川 しらべ (高等部2年)



鳥山理句さんの作品
「弟と遊んだよ」
全国特別支援学校
文化祭に出品します



「学習発表会」

小学部

1組、3組、8組の発表会テーマは「おぼけのがっこう」。おぼけに变身し、日頃頑張っていること、得意なことを発表しました。保護者の皆様に見てもらいながら、笑顔で堂々と発表することができました！



2組、4組、5組の発表会テーマは「おしり探偵とゆかいな仲間たち」。様々なミッションや課題を解決しながら、怪盗Xを倒し、お宝をゲットすることができました。保護者の皆様に応援や拍手をいただきながら、精一杯自分たちのできることを発表することができました！



6組、7組、9組は、1学期に学習した「三匹のこぶた」をアレンジして、音楽劇「おうちを作ろう」を発表しました。約1ヶ月間友達や先生と一緒に練習を積み重ねてきた子供たち。本番では、かっこいい・かわいい「こぶた」や「おおかみ」に变身して、得意なことや好きなことを堂々と発表することができましたよ。本番を終えた子供たちの顔はキラキラと輝いていました。



中学部

令和4年10月14日に行われた中学部の学習発表会は、1年ぶりに保護者が参観する中で行われました。

朝の会、作業学習、合奏、5つの個別発表、全員ダンスと盛りだくさんの内容を、アリーナ内前後左右のスペースをフルに活用し発表しました。参観者のみなさんの優しいまなざしと温かい拍手に応える生徒たちの演技は50分にも及びましたが、時間の長さを感じさせない盛り上がりとなりました。

「Let's have a Wonderful Day～素敵～な一日を！」の演目タイトルのように、中学部11人の生徒たちは、これからの日々の学習に取り組み、毎日が素敵な日になるよう頑張ります。



12月2日（金）、高等部学習発表会が行われました。病棟閉鎖により延期となっていた発表会でしたが、当日は動画と実演を交えながらアリーナで発表しました。

今年度は「私たちの未来～SDGsってなんだろう？～」というテーマの下、2年生と、のびのび学級1組は調べ学習の成果を、のびのび学級2～5組は作業体験学習の成果を、それぞれ存分に発揮していました。

終幕では、全員でSDGsテーマソングに合わせてダンスを行い、一体感の高まりを感じながら閉幕となりました。感染症対策により、当日はアリーナの様子を中継する参観形式でしたが、生徒たちは精一杯の演技と笑顔を披露することができました。



高等部

訪問教育 学級

いきいき学級では、「きらきらコンサート☆2022」と題して、合奏を発表しました。感染症対策のため、なかなか集まって学習できない現状ですが、友だちの演奏の動画にそれぞれの演奏を重ね、みんなの合奏曲ができました。星のようにきらきらした音楽がみなさんに届くよう、星をテーマにした曲「きらきら星」、「見上げてごらん夜の星を～ぼくらのうた～」に取り組みました。

指を動かしてカスタネットを鳴らしたり、スイッチを使ってトーンチャイムを鳴らしたり、教師と一緒に演奏したりと、一人一人の得意な演奏法や頑張っていることを発表できました。

